

平成26年度 祥栄だより9月臨時号
学校評価アンケート結果より



平成26年 9月 18日

京都市立祥栄小学校 校長 斎木 光子 TEL075-681-1556
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/syouei-s/>



『学校評価アンケート』ご協力ありがとうございました。学校評価の結果を報告いたします。

学校教育は、「子どもたち一人一人が社会的生活能力を高め、自己実現を図ること」を目的に目標とする子どもの姿を学校教育目標として表し、子どもたちの成長として実現されるよう日々の学校教育活動を進めています。

学校評価アンケートの実施は、現在の学校教育活動の状況において「取り組むべき優先課題を明らかにし、今後の取組のよりよい推進や改善をすること」です。そして、学校・家庭・地域の具体的な協力・連携を考えながらそれぞれの教育力を発揮して、子どもたちの成長を支援し、よりよい学校生活がおくれるよう改善をはかりながら、教育の充実発展を目指す指針の一つとして実施しています。

<平成26年度 7月実施>

保護者・学校運営協議会

質問項目	重要度 実現度 ニーズ度		
	重要度	実現度	ニーズ度
子どもは、学習がよくわかっている。	6.9	3.6	<u>32.5</u>
子どもは、学習のルール(姿勢、学習準備、発言や話の聞き方等)を守りふさわしい態度で授業を受けている。	6.7	4.3	22.8
子どもは、課題を解決するために自分で考え行動している。	6.7	4.1	26.1
子どもは、学年×10分の家庭学習の習慣が身についている。	6.1	3.7	26.2
100冊読書をめざし、子どもに読書の習慣が身につくよう声かけ等をしている。	5.8	<u>3.2</u>	<u>27.8</u>
学習効果を上げるために、教師は指導法の改善や工夫をしている。	6.6	4.1	25.7
子どもは、安全に楽しく学校に通っている。	6.9	5.6	16.6
子どもは、あたたかい仲間意識を持ち、思いやりや親切にする心を大切にしている。	6.9	5.1	20
子どもは、相手や時、場を考えて正しい言葉づかいができる。	6.7	4.1	26.1
子どもは「おはよう」などあいさつや「ありがとう」の感謝の言葉を進んで言っている。	6.8	4.6	23.1
子どもは、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣を身につけている。	6.7	4.7	22.1
学校は、子どもの人権を大切にした教育活動を行っている。	6.5	4.2	24.7
ルールやマナーを守ろうとする規範意識が育っている。	6.4	4.5	22.4
学校は、学校だよりやホームページで学校の様子をわりやすく伝えている。	6.6	5.7	11.8
学校は、家庭・地域・と連携し「地域総ぐるみ」の教育を推進している。	6.1	4	24.4
子どもを地域行事やPTA行事に参加させている。	5.2	3.6	22.9
保護者は、学校行事(参観・懇談等)に参加している。	5.6	4.8	17.9
PTA活動が積極的に行われている。	4.7	3.8	19.7
教職員は、地域行事やPTA活動に積極的に参加している。	4.5	<u>2.8</u>	23.4

*学校評価アンケートは、保護者・学校運営協議会委員の皆様と教職員にマークシート方式による方法で行いました。回収したアンケート結果は京都市教育委員会が推奨しております分析ソフトにて分析をいたしました。アンケート実施において「学校教育活動全般について取り組むべき課題を明らかにする」ため、各質問項目の回答は、「重要度」「実現度」の二軸としました。指数は、「7.0」を上限としています。また、ニーズ度の指数が高いほど、「重要度」の高さと「実現度」の格差が大きいといえます。

教職員

重要度	実現度	ニーズ度
6.9	4.1	26.9
6.9	3.7	<u>29.7</u>
6.8	3.4	<u>31.3</u>
6.8	4	27.2
6.8	4.4	24.5
6.8	3.7	<u>29.2</u>
7	5.1	20.3
7	4.7	23.1
7	4.1	27.3
7	4.4	25.2
7	3.7	<u>30.1</u>
7	4.2	26.6
7	4.3	25.9
6.6	4.4	23.8
6.8	4.8	21.8
6.4	<u>3.2</u>	<u>30.7</u>
6.7	4.1	26.1
6.3	4.6	21.4
6.1	4.3	22.6



『今後も伸ばしていきたいこと』

- 子どもは、安全に楽しく学校に通っている。
- 子どもは、あたたかい仲間意識を持ち、思いやりや親切にする心を大切にしている。
- 学校は、学校だよりやホームページで学校の様子をわりやすく伝えている。
- 学校は、家庭・地域・と連携し「地域総ぐるみ」の教育を推進している。

『さらに取り組むべき課題』

- 子どもは、学習がよくわかっている。
- 子どもは、課題を解決するために、自分で考え行動している。
- 子どもは、学年×10分の家庭学習の習慣が身についている。
- 子どもは、相手や時、場を考えて正しい言葉づかいができる。

確かな学力

「確かな学力」では、特に「学習がよくわかる」「家庭学習の習慣が身についている。」「課題を解決するために、自分で考え行動している。」の項目を課題と考えました。そこで以下のことに重点をおいて取り組み、「確かな学力」の力を伸ばしていきます。

- 改めてわかりやすい授業を心掛け、個々の児童にていねいに寄り添いながら基礎基本を大切にした授業づくりに努めます。また、みんなで考え深め合う、話をつないで課題解決するといった学習活動の楽しさや学び合いのおもしろさを感じられる授業改善に努力します。
- 授業では児童が自分の考えや学習のまとめを話す、書く、という学習場面を意識し、学習意欲を高めながら、自分から学習をすすめる力を高めます。
- 学校でも家庭でも、「読書」をする時間を増すこと、また「文章を読む」「本に引き込まれる」「読書」を目指し、子どもたちが選ぶ本や読書の喜びを味わえるよう取り組みます。

豊かな心・健やかな体

「安全に楽しく学校に通っている。」「子どもは、あたたかい仲間意識を持ち、思いやりや親切にする心を大切にしている。」において「重要度」「実現度」が共に高い指数結果となりました。

「子どもたち一人一人が学校が楽しいと思えること」、そして「誰にとってもあたたかい学校」が本校の目指す学校づくりの基盤であり根幹です。まだ学校を楽しいと思えなかつたりあたたかな仲間意識を感じられていなかつたりする子どもが安心してのびのびと自分の力や可能性を発揮し、友だちと楽しんで成長し合う学校づくりを、ていねいかつ全教職員一丸となってさらに取り組んでいきます。そのため、自らするあいさつや相手を意識した言動について道徳の授業を中心に考え、学校のあらゆる場で実践行動していけるよう、教職員は、率先して示したりタイミングにほめたり、あたたかな気持ちでかかわり合ったりできるよう、子どもたちと真摯に向き合い寄り添いながら指導・支援していきます。

学校・家庭・地域

「学校だよりやホームページで学校の様子をわりやすく伝えている。」「学校は、家庭・地域と連携し「地域総ぐるみ」の教育を推進している。」の「重要度」「実現度」が今回も共に高い指数結果となりました。しかし、ホームページのタイミングで学校生活情報の発信や、配布物の記述の誤りなどのお声に関して、開かれた信頼される学校づくりを目指し気を引き締め直して、迅速、ていねいな情報の発信に努めています。

また、祥栄小学校ならではの『「地域総ぐるみ」の教育を推進』の強みを、自然災害への備えや日々の安全の充実に向けて、これまでの連携・協力をさらに活性化できるようホームページや配信メールの活用にも努めています。配信メールの登録をされていないご家庭は、ぜひこの機会に登録をお願いします。学校及びPTAホームページの活用もお願いします。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「子どもを共に育む京都市民憲章」を実践しましょう！



